

# 産医師異国に向こう、産後厄なく、産婦みやしるに . . . . .

吉田孝

## 円周率の吉

地球に、1周分のロープを巻き付ける。このロープ全体を地球から1メートルだけ持ち上げる。そうするとロープはあとどれだけ長くなければならないか？

1メートル持ち上げるということは、円の半径が地球より1メートルだけ長くなるということである。そうすると直径は2メートル分増えるから $2 \times 3.14$ で、6.28メートルである。

## 円周率の式

今の小学校学習指導要領が平成10年に公示された時、ちょっとした騒ぎがあった。「円周率は3」という新聞の見出しだけが一人歩きし、それに「ゆとり教育」の批判者がかみついた。さらに大物政治家が出てきて「私は10桁まで言える」などと自慢話まではじめた。

文部科学省の肩を持つわけではないが、この批判は明らかに誤解にもとづいている。正確には「円周率としては3.14を用いるが、目的に応じて3を用いて処理できるよう配慮するものとする」である。例えば、上の例の場合、「直径が2メートル長くなるから、3倍しておよそ6メートルだな」で少しも困らないではないか。その程度の意味なのである。

どうも円周率の話になると熱くなる人がいるらしい。実は、私もその一人である。

「産医師異国に向こう、産後厄なく、産婦みやしるに、虫さんざん闇に鳴く頃にや」

3.1415926535897932384626433832795028 . . .

## 円周率の参

古代から数学者は円周率に関心を持っていたようだ。アルキメデスは、円に内接する96角形と外接する96角形の周囲の長さを計算し、その間にある値として3.14を導き出したと言う。その後円周率の桁数を伸ばす競争が長くつづき、そして現在では計算法の改良とコンピューターのおかげで、1兆桁を越えるところまで計算できているそうである。

プログラムを永久に走らせておくことができれば、桁数も無限に伸びていくのだろう。しかし、この過程は、無限に桁数を伸ばしながら、一方では特別なしかも実際に存在するある一点に向かって収束していきこうとする過程でもある。ちょっとしたパラドックスがここにはある。

## 円周率の夜

昨年8月、ちょうど東京滞在中だった。築地の本願寺の裏にある「兎小舎」というホールで岡田照幸がピアノを弾くというので、「聴き」に行った。岡田のピアノは桁違いにエネルギーッシュである。その名の通りの50席ほどの小さな入れ物では、オーバーフロー(桁あふれ)してしまいそうだ。それをなんとか収束させようとするかのように . . . .

おっと、全部書いては今夜のお客さんに妙な先入観を与えてしまう。あとは、自分の目と耳とちょっとだけ脳味噌を使って楽しんでいただきたい。